

知的財産の創造・保護・活用による競争力強化と地域活性化

【知的財産対策関係 1,552(1,644)百万円】

対策のポイント

先端的な研究開発の成果、植物新品種や家畜遺伝資源、地域ブランド、農林水産業の現場の技術・ノウハウなどの知的財産を適切に保護し、積極的に創造・活用する体制づくりを早急に進めます。

農林水産業の産業としての潜在能力を発揮させるためには、先端的な技術や植物新品種に加え、農林水産業の現場の技術・ノウハウ、地域ブランド、食文化等の知的財産を適切に保護し、積極的に創造・活用することが重要です。これにより、農林水産業・食品産業の競争力強化と地域活性化を目指します。

(農林水産分野の知的財産とは)

- 農林水産分野の研究成果(農業技術等)
- 植物品種、動物品種、遺伝資源
- 農林水産業の現場で使われている技術・ノウハウ
- ブランド(地域ブランド、日本ブランド、企業ブランド等)
- 食文化、伝統文化
- 人々の手によってつくられた農山漁村景観

保護の手段
(知的財産権制度)

育成者権
特許権
実用新案権
意匠権
商標権

政策目標

研究技術開発成果や農林水産業の現場における技術・ノウハウ、植物品種等の知的財産を農林水産業の競争力強化のために有効に活用する体制を整備
農林水産物・食品の地域ブランド化の取組を促進
植物新品種の育成者権保護を国内外において強化

<内容>

1. 農林水産分野の知的財産の活用促進

(1) 農林水産知的財産の創造・発掘・活用の促進

農林水産業・食品産業分野において、研究・技術開発の成果等の実用化を一層効果的に実施していくため、農林水産知的財産ネットワークを構築し、大学、独立行政法人研究機関、公立試験研究機関等の間で情報を共有し、保有する特許、育成者権等を一元的に検索できるシステムの構築により民間企業等による活用を促進します。また、農林水産業の現場の知的財産の円滑な活用を図るため、現場の技術・ノウハウ等の文書化、権利化、許諾、流通という一連の流れを創り出す手法を開発します。

- 【農林水産知的財産発掘・活用促進事業 57(0)百万円】
- 【現場創造型技術(匠の技)活用・普及支援事業 80(0)百万円】

(2) 研究成果の活用

研究成果等の実用化に当たって、独立行政法人研究機関に加え、国公立大学や公立試験研究機関が開発した新品種・新技術も活用し、これらの研究機関と産地・企業の連携による新食品・新素材の安定供給システムの確立を支援します。

また、普及組織が中心となって関係機関が普及・実用化のための実証を行う取組、TLO(技術移転機関)による産業界への技術移転を引き続き支援します。

- 【新需要創造対策 630(1,010)百万円】
- 【産学官連携経営革新技術普及強化促進事業 197(230)百万円の内数】
- 【農林水産技術移転促進事業 63(50)百万円】

2. 地域ブランド・日本ブランドの戦略的推進

農林水産物・地域食品を対象として、地域が『真に力のある地域ブランド』を確立できるよう、生産・品質管理、名称管理、マーケティング力向上等の一貫した取組に対しアドバイスするプロデューサーや専門家の招へい、機器や施設の整備等を支援します。

海外日本食優良店の調査、現地における優良店の基準の策定・普及、現地組織による情報収集等を支援することにより、海外における日本食の信頼性を高め、日本食ファンを世界に広げます。

- 【農林水産物・食品地域ブランド化支援事業 108(0)百万円】
- 【強い農業づくり交付金 24,914(34,067)百万円の内数】
- 【水産物流通構造改革事業 491(491)百万円の内数】
- 【食料産業クラスター展開事業 609(609)百万円の内数】
- 【海外日本食優良店調査・支援事業 182(276)百万円】
- 【海外日本食優良店普及促進事業 45(0)百万円】

3. 我が国の植物新品種、ブランド名称等の保護の強化

(1) 東アジア植物品種保護フォーラムの設置

我が国の植物新品種を海外においても適確に保護するため、東アジア地域において、制度の共通の基盤作りを目指し、各国が共同で調和のとれた制度の整備・充実を進めるため、「東アジア植物品種保護フォーラム」を設置し、技術協力、人材育成等を推進します。

- 【東アジア植物品種保護フォーラム推進事業 127(0)百万円】
- 【アジア地域植物新品種保護制度整備推進事業 22(15)百万円】

(2) DNAによる品種識別の促進

我が国のオリジナル品種保護のためのDNA品種識別技術の開発、登録品種の標本・DNAの保存等を行います。

【登録品種の標本・DNA保存等事業	24(0)百万円】
【農林水産物等輸出促進支援事業のうち品種保護に向けた環境整備	58(72)百万円】
【品種登録予備審査促進データ構築提供	37(0)百万円】

(3) 家畜遺伝資源の保護・活用体制の強化

海外の追随を許さない優れた和牛の生産体制を構築するため、和牛精液ストロー等の流通管理の厳格化のための体制をモデル的に構築・実証します。また、遺伝子情報に基づいた速度と多様性に優れた和牛の改良技術(遺伝子育種)の早期実用化を図るため、和牛遺伝子解析等研究開発の促進のための取組を支援します。

【和牛精液等流通管理体制構築推進事業	82(109)百万円】
【畜産新技術実用化対策推進事業	532(559)百万円の内数】

(4) 海外の商標権等に関する情報収集・提供体制の強化

我が国食品産業の東アジア地域への投資を促進するため、海外現地連絡協議会の拡充、情報収集・提供体制の強化等を進めます。

【食品産業国際競争力強化対策事業のうち東アジア産学官ネットワーク構築支援事業	58(58)百万円の内数
	補助率：定額
	事業実施主体：民間団体等

4. 人材育成・普及

知的財産に関する農林水産現場の指導的人材を育成するため、普及指導員及び地方公共団体職員や農協の営農指導員等の指導的立場にある者等に対し、知的財産に関する研修を行うとともに、相談に対応できる体制を充実します。

【農林水産分野知的財産人材育成総合事業	27(0)百万円
	補助率：定額
	事業実施主体：民間団体等

[担当課：大臣官房企画評価課(03-3502-5525(直))]

知的財産の創造・保護・活用による競争力強化と地域活性化

先端的な研究開発の成果、植物新品種や家畜遺伝資源、地域ブランド、農林水産業の現場の技術・ノウハウなどの**知的財産**を積極的に活用する体制づくりを推進。

農林水産業・食品産業の競争力強化
農山漁村の活性化

知的財産の創造・発掘・活用

知財の創造・発掘・活用の促進

農林水産知的財産ネットワークの構築により、研究成果や現場の技術・ノウハウ・植物新品種等の知的財産の情報を共有し、マッチング等の活用の体制を整備。これにより、更なる知財創造を喚起。

公的研究機関の研究成果を幅広く活用し、新食品・新素材の実用化により新需要を創造。



アントシアニンを多く含む紫イモ



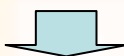
紫外線を受け発光する生糸



電子基盤への応用

地域ブランド化の戦略的推進

『真に力のある地域ブランド』を確立するための品質管理、生産体制の整備、名称管理、マーケティング力向上等を行うプロデューサーの招へいを支援



地域ブランドの確立



紀州南高梅干し



夕張メロン



関さば・関あじ

知的財産の保護

植物新品種の国内外における保護強化

海外での保護の強化を目指し、東アジア地域各国における調和的な品種保護制度の整備・充実を推進するため、「東アジア植物品種保護フォーラム」を設置。

権利侵害への迅速な対応を目指し、DNA識別技術の向上、鑑定可能な登録品種の保管体制の整備等。

その他知的財産の保護強化

我が国食品産業の東アジア地域への投資を促進するため、情報収集・提供体制を強化。

家畜遺伝資源の保護・活用体制の強化

支え

支え

(下地づくり)

支え

人材育成・知識の普及

普及指導員や地方公共団体職員、農協の営農指導員等への研修による指導的人材育成とそれによる農林水産業者等への知的財産の意識の普及